



シラバス

シラバス 2010 年度の講義概要のデータベースを検索します。

■学部・研究科	理工学研究科	■時間割コード	93549
■科目名 サブテーマ	M都市システム工学ゼミナール1	■授業形態/単位	春/2
■担任者名	<u>鶴田 浩章</u>	■クラス	
■講義概要	<p><授業の到達目標及びテーマ> 広い視野に立って物事を考え、研究能力又は社会で必要となる能力を身につけることを目的として、修士論文作成のための検討に取り組み、それに関連して必要となる技術力を養う。特に、種々の事項を関連づけて、取りまとめる能力とコミュニケーション能力を養う。</p> <p><授業の概要>本ゼミナールでは、修士論文作成の流れを理解して、必要となる情報の収集やデータの整理、取りまとめる考え方などを習得する。</p>		
■講義計画	<p>以下のポイントに留意しながら、各自の研究テーマに対して修士論文作成の取り組みを進めていく。定期的に、進捗状況の報告・議論を行いながら、建設材料に関する知識を深めていく。</p> <p>第1週～第4週: 研究の位置づけの考え方 文献調査を行うことで、研究のキーワード、現状、問題点等を把握し、研究の位置づけを考える。文献調査結果の整理と報告。</p> <p>第5週～第6週: 研究目的の設定 文献調査結果を踏まえて、研究目的を設定する。</p> <p>第7週～第10週: 研究計画・実験計画の策定 研究目的を踏まえて、研究計画・実験計画を作成する。研究計画について報告、議論を行い、研究計画を完成させる。それを受けて、使用材料の手配や使用機器等の準備を進める。</p> <p>第11週～第13週: 実際の実験を通して、現象の理解を進める 4年次生の特別研究の実験に対する指導や各自の研究計画に伴う実験を通して、建設材料に関する現象の理解を進める。</p> <p>第14週: まとめとしての報告会 春学期に取組んだ実験等の結果と今後の課題、今後の予定、取組んだ課題に対する成果等についての報告を行う。</p>		
■成績評価の方法	<p>定期試験を行わず、出席・平常レポート・平常試験など(平常成績)で総合評価する レポートや日頃の報告の内容(40%)、ゼミでの議論への参加状況及び学部生に対する指導(10%)、まとめの報告会の発表、質疑応答(50%)などの平常点から総合的に評価する。</p>		
■教科書	<p>必要に応じてプリントの配布を行う。</p>		
■参考書	<p>土木学会 2007年版『コンクリート標準示方書』 設計編、施工編、維持管理編、規準編</p>		
■備考	<p>オフィスアワー: 随時実施する。予約が望ましい。E-Mail: tsurutah@kansai-u.ac.jp</p>		

Copyright (C) 2004-2010 関西大学および情報提供者 All rights reserved. 無断転載を禁じます